

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 10 階 1008 号室	次年度米山奨学委員会 委員長	岡部 倫正
リーダー 役職・氏名		
パストガバナー 若林 紀男		
<b>議事録作成者</b>	副SAA 暮松 毅 (大阪南 RC)	

開 会	( 1 5 時 1 0 分)
発表者：若林 紀男 パストガバナー	
【記録内容】	
1) ロータリー米山奨学会について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し 日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給する財団</li> <li>・ 発足から今年で 50 年</li> <li>・ 米山梅吉翁生誕 150 年</li> <li>・ 50 年間で奨学生数が 2 万人を突破</li> <li>・ 関西米山学友会の活動は全国でもトップレベル</li> <li>・ 学資支援だけでなく、人材育成事業でもある</li> </ul>	
2) 米山 梅吉 翁について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青山学院の前身である東京英和学校で学び、20 歳でアメリカ留学</li> <li>・ 7 年間の留学生活の中でアメリカ奨学金制度の恩恵を受ける</li> <li>・ 日本に帰国後、三井銀行で働く</li> <li>・ 41 歳の三井銀行常務時代に、私財を投げうって青山学院初等部の前身である緑丘小学校、幼稚園を設立</li> <li>・ 昭和 9 年、現在のお金で 300 億円以上の出資で社会奉仕事業のために設立された三井報恩会の初代理事長に就任</li> <li>・ 米山 梅吉 翁 逝去後、東京ロータリークラブが中心となって米山奨学事業を立ち上げる</li> </ul>	
発表者：次年度危機管理委員会 近藤 眞道 副委員長	
( 1 5 時 3 5 分)	
【記録内容】	
1) 虐待、セクハラに関する危機管理について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R I 事業において、虐待、セクハラに関する問題が、世界でも日本でも多発している</li> <li>・ 訴訟問題に発展している事案が多くなっている</li> <li>・ 青少年交換留学プログラム、米山奨学事業においては損害保険に加入</li> </ul>	

<p>2) R I のゼロ容認方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待、セクハラに対して、いかなる違反も法規適用 (ゼロ容認方針)</li> <li>・ 第三者による徹底した調査を行う</li> <li>・ R I に速やかに報告する (72 時間以内)</li> </ul>
<p>発表者：次年度米山奨学委員会 廣瀬 彰久 副委員長 (15時50分)</p>
<p>【記録内容】</p> <p>DVD 放映「ひろがれ！人づくりの輪」 ～ロータリー米山奨学事業のいま～</p> <p>日本国内で活躍する奨学生、学友会の紹介</p> <p>世界で活躍する奨学生、学友会の紹介</p>
<p>発表者：次年度米山奨学委員会 岡部 倫正 委員長 (16時00分)</p>
<p>【記録内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 米山梅吉翁のあゆみ～財団設立まで</li> <li>2) 国内最大級の事業規模</li> <li>3) 2018 年度奨学生について</li> <li>4) 2018 年度採用人数内訳</li> <li>5) 米山奨学事業の知的貢献型奨学金             <p>計 2 回の基礎調査から得られた情報を基に分析・考察した結果、今後は救済支援型奨学金ではなく、知的貢献型奨学金とすべきであるとの財団理事会の結論に至った</p> </li> <li>6) 米山記念事業の成果</li> <li>7) 寄付の使用用途</li> <li>8) 2017 学年度終了式の報告</li> </ol> <p>2017-18 年度は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会も無事に 50 周年を迎えることができ、これも一重に皆様からのご寄付ご理解があつてこそだと御礼。また 2018-19 年度も是非とも、米山に触れ、米山を感じ、米山を支援する一年にして頂くようお願いし終了。</p>
<p>閉 会 (16時45分)</p>